

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301

お問合せ電話：+81-45-717-8575

中国 モンゴル炭の輸入が拡大 豪州炭は静観

モンゴルは中国の原料炭主要輸入先である。

7月中旬モンゴルからの通関量が上昇しており、石炭貿易港である甘其毛都港（所在地：内モンゴル自治区バヤンノール市）では7月上旬コロナ感染再拡大により石炭の通関量は減少された。あくまで一時的に影響を受け、その後急速に回復した。7月16日の輸送トラック通関台数は587台で、過去2年間で最大となった。

甘其毛都港に並ぶ貿易港である策克港(所在地:内モンゴル自治区エジン旗)は、5月25日に通関が再開されてから通関量が上昇している。輸送トラックの通関台数は7月11日には127台であった。



出典：中国石炭資源網

図1 甘其毛都港のモンゴル炭輸送トラックの通関量
(2021年1～7月)



出典：中国石炭資源網

図2 策克港のモンゴル炭輸送トラックの通関量
(2021年1～7月)

モンゴルから石炭の通関はコロナ規制措置の影響を受けていないが、甘其毛都港からの国内輸送は規制で制限されているため、同港の石炭在庫量が大幅に増加している。7月16日の規制緩和で国内輸送が回復すれば在庫過剰も解消に期待できる。

豪州は中国にとって原料炭の主要輸入国だった。豪州炭の発熱量、揮発分、粘結性などが優れているためだが、2020年10月に中国は豪州炭の輸入禁止措置を講じ、同年12月からの輸入はゼロになった

このほど、20カ国・地域（G20）外相会合期間中に王毅国務委員兼外交部長は豪州のペニー・ウォン外相と会談した。両外相の会談は3年ぶりだった。これにより豪州炭の輸入禁止措置が緩和されるのではないかと関係者が推測されている。

業界の関係者によると、国内産原料炭価格の高止まりに対して豪州産原料炭価格が最近大幅に下落している。安価な豪州炭の輸入が再開となれば、営業損失が続くコークスメーカーと鉄鋼メーカーにとって朗報である。

出典：中国石炭資源網